

第11回阪南みらい会議 会議要旨

日時：平成22年6月10日(木)

19:00~21:00

場所：市役所3階 全員協議会室

出席者

委員	13名(欠席者8名)
アドバイザー	近畿大学 久教授
事務局	総務部理事、みらい戦略室5名、 パンフィックコンサルタンツ(株)1名

(1) 会議の進め方について

(まとめ)

- ・前回までの委員の意見で、いくつかの共通キーワードが出ている。それに基づいて、2班に分かれてキャッチフレーズを作り、その後全体会議にて取りまとめることとする。

(2) 班による発表

・グループ1 キャッチフレーズ

「みんなで築こう 共に生きるまち」(阪南)

・「みんな」

市民、団体(法人含む)、市役所など、阪南市に住んでいる・関わっている人や団体
自然や文化を含む、阪南市を構成する要素

・「築こう」: 築く、気付く

協働の仕組みを努力して築く

自立して行動し、考え、いろいろなことに気付く

環境や文化を活用する仕組みを築く

自助・共助のできる環境を築く

安心や安全を築く

・「共に生きるまち」: 生きる、生きる

自然や地域と共に生きる

お互い様で支えあう

歴史(文化、世代)と共に生き、活用・活性化する

産業を活性化する(地産地消の促進)

お互い(自然・団体を含む)を慈しみ、共に生き活きと過ごす

・グループ2 キャッチフレーズ

「花いっぱい 結びつき・睦みあう 阪南市」

- ・「安心・安全」「人と人の絆(市民)」「自然・歴史」「協働」の4つを柱とする。
- ・信頼や助け合いなどの意味を込めて、「結びつきのあるまち」「睦みあい」を母体にするの
はどうか
- ・「花」
象徴として阪南市の花「さつき」を街中にもっと咲かせるという意味、また、自然・笑顔
(安心・元気)・成果(協働など)という意味もある。
- ・まだ意見の段階であり、グループでのキャッチフレーズ決定までは至っていない。

～久教授アドバイス～

- ・2つのキャッチフレーズが示されたが、まとめ方はいくつかある。
- ・キャッチフレーズを一本化する方法
2本立てにする(対等、もしくは主従の関係)
二つの言葉を組み合わせるとひとつにする
- ・グループ1のキャッチフレーズは、キーワードが「築く」と「共生」で、大きな意味に取れる言葉でできているため崩しにくい。
- ・グループ2の「花」という単語は特殊なものなので、グループ1のキャッチフレーズには入れにくい。キーワードは「花」「結び」「睦みあう」であるが、「花」以外は全てグループ1の「共生」と重なる。もし入れるとすれば、「みんなでさかそう」という方法もある。

(3) 今後の進め方について

- ・キャッチフレーズとそれに付随する(各分野のまちの将来像を示すような)いくつかの大きな柱については、次週までに各自考えてくることとする。
- ・提言書という形で作るか作らないかはまだ未定であるが、提言書の様式を含め意見・提案等
ある場合は、書面で提出することとする。

～久教授アドバイス～

- ・まとめ方にもいろいろなやり方がある。
- ・まとめの提言については無理に文章化せずに、会議の場にいる人全員が、ある程度共有した状態をもってまとめたものとする方法もあるが、不安があるのなら文書化してもよい。
- ・今後の実際の協働のなかでも、まとめる作業がとてもしんどいが、きっちりした書面がなくても一定の思い・方向性が共有できていればよしとする状況も出てくるだろう。極端に言えば、キャッチフレーズだけいただければ、後は、行政としては、皆さんの思いを盛り込むことができると思う。お互いの「^{あうん}阿吽」の呼吸も大切なのではないか。

(4) 次回の日程と司会者について

6月16日(水) 19:00～

司会者は横浜委員、安達委員とする。